

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、13～19℃台を示し、やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間とシケで漁獲日数が少なかった。西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり0.8トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週の70%（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり46kgの水揚げで、前週の49%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり130kgの水揚げで、前週の4%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり484kgの水揚げ。北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり155kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり138kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり236kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり236kgの水揚げで、前週の7倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/9～1/14日の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は隠岐諸島北側～佐渡沖に出漁。沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～能登半島～佐渡沖～酒田沖に出漁。

鳥取県西部（沖合船）1日延2隻、総計25箱、1航海最高15箱、平均12.5箱。スルメイカを中心に漁獲、魚体は20入主体。今期は荒天模様で、隠岐諸島周辺でスルメイカがわずかに獲れた。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第2-2号 対馬・壱岐海域のスルメイカ漁況予報 第2-3号 対馬東水道・壱岐水道の観測結果」を長崎県庁ホームページに掲載しています。

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>